

第25回さいたま市立病院経営評価委員会議事録

日時	令和4年7月28日(木) 10時00分～11時45分
場所	さいたま市立病院 アッセンブリーホール
出席者	<p>一般社団法人浦和医師会顧問(前浦和医師会会長) 登坂委員 九州大学名誉教授 尾形委員(Web) 公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会東京都支部 青地委員 (Web) さいたま市自治会連合会副会長 大熊委員 平塚市病院事業管理者 石原委員 川口市病院事業管理者 大塚委員(Web)</p>
事務局	<p>保健福祉局 細沼保健福祉局長 (地域医療課)松浦参事兼課長、田川主事 市立病院 堀之内院長、小山副院長、増田副院長 市立病院病院経営部 堀越部長 (病院総務課)高橋課長、坂口課長補佐兼総務係長、荻原職員係長 (病院施設管理課)三上課長、池田管理・防災係長、宇月主査、庄田 主事 (病院財務課)富田課長、青野財務企画係長、平林調達係長、石橋 主査、山崎主任 (医事課)増田課長、栗原課長補佐兼医事企画係長 (情報管理室)鈴木参事兼室長、福田室長補佐 (患者支援センター)日向参事兼副所長、竹村主幹 市立病院診療部 (薬剤科)玉川科長 (中央放射線科)双木副技師長 (中央検査科)長沢技師長 市立病院看護部 安西看護部長</p>
次第	<p>1 開 会 2 議 事 (1)委員長の選出 (2)第2次中期経営計画の達成状況に対する評価について 3 その他 4 閉 会</p>

<p>配付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第 25 回さいたま市立病院経営評価委員会次第 ・さいたま市立病院経営評価委員会委員名簿 ・第 25 回さいたま市立病院経営評価委員会 配席図 ・さいたま市立病院経営評価委員会設置要綱 ・A3判 項目評価一覧 ・さいたま市立病院中期経営計画の達成状況について 【令和3年度評価(案)】
<p>1 開会 富田病院財務課長</p> <p>石原委員 富田病院財務課長 大塚委員</p> <p>富田病院財務課長</p> <p>堀之内院長</p>	<p>それでは、定刻となりましたので、ただ今から、「第 25 回さいたま市立病院経営評価委員会」を始めさせていただきます。皆様、マイク等声は届いておりますでしょうか。</p> <p>委員の皆様におかれましては、ご多忙の折にもかかわらず委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>申し遅れましたが、本日、委員長が決まるまでの間、進行を務めさせていただきます、病院財務課長の富田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の会議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からハイブリット形式での会議とさせていただいておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、開会に先立ちまして、まず前回の委員から新たに2名の方に本委員会の委員としてご就任いただいております。お名前を申し上げますので、簡単に自己紹介をお願いいたします。</p> <p>平塚市病院事業管理者の石原 淳様でございます。</p> <p>石原です。宜しくお願いいたします。</p> <p>続きまして、川口市病院事業管理者の大塚 正彦様でございます。</p> <p>川口市立医療センターの大塚です。よろしくお願いいたします。さいたま市立病院は、我々にとって目標とするところなので、さいたま市立病院のお役にたてればと、今日は頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>富田病院財務課長 ありがとうございます。</p> <p>続きまして、当院院長であります堀之内よりご挨拶させていただきます。堀之内院長よろしくお願いいたします。</p> <p>着座にて失礼させていただきます。院長の堀之内でございます。</p> <p>委員の皆様方におかれましては、委員にご就任いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>また、本日は、大変お忙しい中、また遠いところ、当院の経営評価委</p>

<p>富田病院財務課長</p> <p>委員一同</p> <p>富田病院財務課長</p>	<p>員会にご出席いただき、ありがとうございます。</p> <p>一昨年度より続く新型コロナウイルス感染症については、いまだに感染状況の収束が見通せない状況です。昨年のデルタ株、また冬からはオミクロン株の拡大、また変異株による感染拡大は、病院運営に非常に厳しい状況をもたらしています。</p> <p>その中において当院は、さいたま市内で唯一の感染症指定医療機関であることから積極的な患者受け入れを行っており、昨年度は最大 56 床を新型コロナウイルス感染症病床として運用し、最前線で対応してまいりました。現在も引き続き、新型コロナウイルス感染症に細心の注意を払いつつ、病院運営を行っているところです。</p> <p>さて、本日ですが、当院の第2次中期経営計画の延長期間である5年目に当たります令和3年度の取り組み結果につきまして、委員の皆様方からご評価いただければと考えております。</p> <p>委員の皆様方におかれましては、大変限られた時間ではございますが、当院の中期経営計画の取り組み内容に対し、忌憚のないご意見を頂戴したいと存じますので、本日はよろしく願いいたします。</p> <p>院長ありがとうございました。</p> <p>これから議事に入る前に委員の皆様を確認させていただきます。経営評価委員会設置要綱の第7条に基づき、当会議は原則公開となっております。公開となりますと、本日の会議録、会議資料等につきましては、各区役所の情報公開コーナーや市ホームページ等で公表することとなります。委員の皆様の過半数の同意があった場合は、会議録・会議資料につきまして非公開とすることもできますが、本日の会議は、公開ということによろしいでしょうか。</p> <p>はい。</p> <p>それでは公開とさせていただきます。また、本日の会議につきましては、傍聴希望の申請はございませんでしたので、ご報告いたします。</p>
<p>2. 議事</p> <p>富田病院財務課長</p>	<p>それでは、議事に入らせていただきます。次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>初めに議事「(1)委員長の選出」となります。こちらは令和3年度末におきまして、各委員の皆様の任期が一度満了となりました。そこで、当委員会設置要綱にあります「委員長は委員の互選」との規定に基づきまして、改めて委員長を選出していただきたいと思っております。どなたかご意見、ご推薦等がありましたらお願いいたします。石原委員お願いいたします。</p>

石原委員	私、本日初めてですが、ここの地域医療からいいまして、地域の事情がお分かりになっており、今までの経緯がよく分かっている方がいいと思いますので、登坂先生に引き続きお願いできたらと考えております。
富田病院財務課長	ありがとうございます。その他ご意見ございますでしょうか。それでは登坂委員に改めて今回も委員長をお願いするということでご異議なしということでしょうか。 それではご異議ございませんので、登坂委員を委員長として決定させていただきます。それでは、登坂委員長、以降の進行よろしく願いいたします。
大塚委員	申し訳ありません。ちょっと声が聞こえにくいのですが、ほかの方は大丈夫でしょうか。院長先生の際は、よく聞こえていたのですが、いまは非常に聞き取りにくいです。
尾形委員	同様です。非常に聞き取りにくいです。
登坂委員長	登坂ですが聞こえておりますでしょうか。
大塚委員	聞こえております。
富田病院財務課長	改めまして聞こえておりますでしょうか。聞こえているようですので、この形でご説明させていただきます。
登坂委員長	ただいま委員の皆様のご推挙によりまして、委員長をさせていただくことになりました登坂でございます。これから委員の皆様のご協力のもと、委員長の責務を全うしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。 早速ですが、副委員長の選出を行いたいと思っております。副委員長の選出については、委員会の承認を得て、委員長が指名することになっております。前回まで尾形委員に副委員長をお務めていただいておりますので引き続き尾形委員をお願いいたしたいと思いますけれども、尾形委員、よろしいでしょうか。 特にご異議がないようでございますので、副委員長には尾形委員をお願いいたしたいと思います。尾形委員よろしく願いいたします。 続きまして、議事「(2)第2次中期経営計画の達成状況に対する評価について」です。今年度の評価の進め方を含め、「公立病院として地域住民から求められる医療機能の提供」について事務局から説明していただきたいと思っております。
富田病院財務課長	それでは事務局より説明させていただきます。第2次中期経営計画の達成状況に対する評価ですが、今回の委員会にてアクションプランの各項目についてご評価やご意見などをいただきたいと考えておりま

す。

続きまして、資料について、ご説明させていただきます。恐れ入りますが、A3判の評価項目一覧をご覧ください。こちらは、お手元の冊子「さいたま市立病院中期経営計画の達成状況に対する評価【令和3年度評価(案)】」の取り組むべき項目を一覧としたものになります。

表の一番左側「目指すべき方向性」につきましては、第2次計画の目指すべき方向性である「(1)地域の基幹病院としての地域医療における中核的な役割」と「(2)健全な経営基盤の確立」の2つに分けております。

次に、この目指すべき方向性の右隣の欄にある「大項目」でございますが、こちらは第2次計画に記載している「目指すべき方向性とその実現に向けた取組」を示しているものでございます。

また、「大項目」から3列右側の欄「小項目」につきましては、具体的な取組を設定しているものでございます。

その右隣の「頁」は、A4版横の冊子のページとリンクしておりますので、参考にしながらご覧いただければと思います。

その隣の「令和3年度目標」と「令和3年度実績」につきましては、それぞれ設定した目標と実績結果となります。

続きまして、評価方法について説明いたします。資料真ん中の「小項目評価」でございますが、表の欄外左下、評価方法の「①評価指標」をご覧ください。評価指標はsからdまで5段階に分け、それぞれ評価指標の説明に沿って、sからdまでの評価を付しております。

その右隣の「②小項目評価の点数」につきましては、評価指標ごとにsの10点からdの0点を評価指標ごとに点数を付しまして、資料の上段となりますが、左から3列目の評価ウェイトを掛け合わせた点数が小項目の評価点数となるものでございます。

次に「評価点数合計」でございます。表の大項目「①公立病院として地域住民から求められる医療機能の提供」を例にご説明させていただきます。こちらの欄をご覧くださいと、59.5と記載しております。

こちらは左隣の小項目の評価点数の合計となったものでございます。大項目①の満点は115点であります。この評価点数合計の59.5点は、満点に対して52%となりますので、このパーセンテージを評価点数／満点の欄に記載しております。

さらにその隣の「病院評価」の欄をご覧くださいと、大項目①につきましては、Bと記載してございます。こちらは欄外下の「③満点評価点数に占める小項目評価点数の割合による大項目評価」のとおりパー

センテージに応じてSからDまでの評価としております。

本日は、その隣にあり、現在空欄としております「外部評価」について委員の皆様からご意見を頂戴し、評価を決めていただきたいと存じております。

それでは小項目の評価内容につきまして説明いたしますので、A4版横「さいたま市立病院中期経営計画の達成状況について【令和3年度評価(案)】」をご覧ください。

大変恐縮ですが、委員の皆様のご意見につきましては、大項目ごとに説明をさせていただいたのちに、頂戴いただければと考えております。

それでは、冊子の1ページをご覧いただけたらと思います。小項目「1 新病院建設事業の円滑な推進」ですが、目標は実施、それに対する実績は実施でございまして、評価はbとしております。旧病院解体工事の入札が一度不調となりまして、最小限ではありますスケジュールに遅れが生じております。

次に4ページをご覧ください。小項目「4 手術件数の増加」ですが、目標は6,000件、それに対する実績は5,122件でございまして、評価はbとしております。新型コロナウイルス感染症患者の受け入れに人員を充てるため、予定手術枠を減らさざるを得なくなったことから、目標を下回っております。

次に5ページをご覧ください。小項目「5 外保連試案及び特定内科診療の項目達成数」ですが、目標は5項目、それに対する実績は3項目であり、評価はcとしております。特定内科診療3項目は達成しましたが、外保連試案につきましては、基準値が上昇したため、基準を満たすことができませんでした。

次に6ページをご覧ください。小項目「6 救急搬送患者数の増加」ですが、目標は7,000件、それに対する実績は6,671件であり、評価はbとしております。新型コロナウイルス感染症患者を受入れるため、一部病棟を閉鎖してございまして、救急患者の受け入れも制限することとなったため、目標を下回ったものでございます。

次に9ページをお願いします。小項目「9 化学療法実施件数の増加」ですが、目標は6,000件、それに対する実績は5,237件でございまして、評価はbとしております。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もございまして目標に届くことができませんでした。

次に10ページをお願いいたします。小項目「10 内視鏡治療処置件数の増加」ですが、目標は1,900件、それに対する実績は1,894件でござ

	<p>ざいまして、評価はbとしております。目標をわずかに下回りましたが、達成率は 99.6%となっているものでございます。</p> <p>次に 14 ページをお願いします。小項目「14 災害時における医療体制の充実」でございますが、目標は実施、それに対する実績は実施でございまして、評価はbとしております。新病院における事業継続計画(BCP)の修正までに至りませんでしたので、このような評価となっております。</p> <p>15 ページをお願いいたします。小項目「15 DMAT チームの体制の充実」でございますが、目標は実施、それに対する実績は実施でございまして、bとしております。日本DMAT研修の参加申し込みを行いました。残念ながら落選したことから研修に参加することができませんでしたので、このような評価としております。</p> <p>恐れ入りますがA3判の表を再度ご覧いただければと思います。大項目①における小項目評価は、a が7件、bが7件、cが1件でございます。評価点数合計が 59.5 点でございます。満点に対する割合は 52%となり、病院評価はBとしております。大項目①についての説明は以上となります。</p>
登坂委員長	<p>ありがとうございます。ただいま事務局より大項目「① 公立病院として地域住民から求められる医療機能の提供」についての市立病院としての内部評価がございました。</p>
石原委員	<p>a 評価が7件、b評価が7件、c評価が1件となっております。b、cについて説明がありましたけれども、委員の皆様からご意見、ご質問等がありましたら、ご発言をお願いします。それでは、石原委員をお願いします。</p> <p>今日初めて見させていただきましたが、非常に細かい作業をされているという印象を受けました。こういう形式で評価をされているので、難しいところがあると思うのですが、数値目標があつて、それに対する自己評価が厳しいかどうか、これは各病院の判断によると思いますので、これは尊重すべきだろうと思います。</p> <p>一方で、定性的な実施がなされたことに対して、これを a、bと分けて評価することは難しい。非常に細かいところと主観的なものが入ってしまうので、今後もう少し、数値目標に置き換えて、項目をもう少し絞られても良いと思いました。</p> <p>それから、特定病院群を指摘されているということで、いくつかの項目が出ておりますが、診療密度そのものがいくらなのか、もし分かれば教えていただきたい。</p>
登坂委員長	<p>それでは事務局からのご回答をお願いします。</p>

増田医事課長	<p>医事課長でございます。ただいまのご質問に答えさせていただきます。直近の診療報酬改定時におきます診療密度につきまして、当院では、2,548.16となっております。基準値が2,544.49でしたので、若干ではありますが上回っております。</p>
石原委員	<p>上回っているのですね。</p>
増田医事課長	<p>診療密度は上回っております。</p>
石原委員	<p>分かりました。</p>
登坂委員長	<p>ほかにご意見ございますでしょうか。尾形委員、ご意見ございますでしょうか。</p>
尾形委員	<p>(音声不明瞭)結局 52%ということは、A3判の項目評価一覧の下の評価方法「③満点評価点数に占める小項目評価点数の割合による大項目評価」にBにあたるというお話だったと思うのですが、そもそもこの③のSからDの達成度割合については、確認ですが、なにか準拠するものがあるのかどうか。</p>
登坂委員長	<p>尾形委員、途中で少し声が聞こえなかったのですが、どこの確認になりますか。</p>
尾形委員	<p>A3判項目評価一覧の大項目①については、評価点数合計が59.5点で満点に対する割合が52%となっており、それを評価方法の③の表に当てはめると30%以上60%未満にあたりますので、B評価というお話だったと思うのですが、そもそもこの③の表のSからDはなぜこの区分表にしたのか、なにかに準拠してこの形にしたのかをお聞きしたい。</p>
富田病院財務課長	<p>ご回答いたします。こちらのSからDまでの区分ですが、第1次計画、第2次計画と策定しておりますが、いちばん最初の当委員会にて決定させていただいております、そのまま踏襲しているものとなります。</p>
尾形委員	<p>分かりました。印象ですが、Bとなるとそれなりの評価と見てとれるが、30%以上というところまでカバーしているので、印象としては甘いというか、上乘せしていると感じられます。</p>
登坂委員長	<p>やはり、B評価ですと40%から60%程度までをB評価とした方がよいのでしょうか。</p>
尾形委員	<p>この区分ではあまり下の評価にならない、逆にSは厳しいものである。この区分で行くと決めているのであれば結構です。</p>
登坂委員長	<p>青地委員、いかがでしょうか。</p>
青地委員	<p>この大項目①の中で、数字の実績としては、手術件数、化学療法、内視鏡でしたり色々なところで目標には達成していないところが多いですけども、新型コロナウイルスの状況を考えますと、この数値を維持できたのは、なかなか素晴らしいのではないかという感想を</p>

<p>登坂委員長 大塚委員</p>	<p>もっております。</p> <p>ありがとうございました。大塚委員いかがでしょうか。</p> <p>青地委員と同意見なのですけれども、コロナ禍という厳しい状況の中、素晴らしい数字を出しているのですけれども、例えば手術件数の令和2年度の目標が 6,300 件となっており、複数年で目標値を増やしているが、令和3年度が下がり目標が 6,000 件となっている。</p> <p>また、9ページの化学療法についても、同様に令和2年度の目標が 7,200 件だが実績が 5,186 件となり、目標達成がなかなか難しく、またコロナの影響を考慮して、令和3年度の目標を 6,000 件に下げたとの考えでよいか。</p>
<p>富田病院財務課長</p>	<p>病院財務課長でございます。</p> <p>この第2次計画は、当初令和2年度までの計画でございまして、後半は新病院に移行してからの目標となっており、目標数値を上げておりました。</p> <p>しかし、大塚委員の仰っている通り、新病院として運営をしましたが、コロナの影響もありまして、目標数値を達成することは困難なところがありまして、1年間計画を延長した令和3年度については、目標を下方修正いたしました。</p>
<p>登坂委員長 大熊委員 登坂委員長</p>	<p>ありがとうございました。大熊委員いかがでしょうか。</p> <p>特にありません。</p> <p>それでは、病院の内部評価では、B となっておりますが、事務局案どおり B ということでよろしいでしょうか。</p> <p>外部評価としては、B 評価といたしたいと思います。</p> <p>次に移りたいと思います。大項目「②医療の質の向上」に移りたいと思います。事務局より説明をお願いします。</p>
<p>富田病院財務課長</p>	<p>引き続き事務局より説明させていただきます。大項目②につきましては、全ての小項目におきまして目標を達成しております。大変恐縮ですが、本日は小項目の説明は割愛させていただきます。</p> <p>A3判資料にて説明いたします。大項目②における、小項目評価は a が5件でございます。「評価点数合計」は 28.7 点、満点に対する割合は 70%となることから、「病院評価」は A としております。大項目②についての説明は以上となります。</p>
<p>登坂委員長</p>	<p>ありがとうございました。市立病院の内部評価としては、a 評価が5件で平均値による評価は A となっております。</p> <p>それでは、委員の皆さまからのご意見、ご質問がありましたら、ご発言をお願いします。</p>

<p>尾形委員</p> <p>登坂委員長 青地委員 登坂委員長 石原委員 登坂委員長 大塚委員 登坂委員長 大熊委員 登坂委員長</p>	<p>尾形委員、ご意見がありましたら、お願いしたいと思います。</p> <p>大項目②に関しては、非常によくやっておられ、高い評価になっていると思います。私からの意見はございません。</p> <p>それでは、青地委員いかがでしょうか。</p> <p>大項目②につきましては、特に意見はございません。</p> <p>石原委員いかがでしょうか。</p> <p>特にありません。</p> <p>大塚委員いかがでしょうか。</p> <p>大項目②については、問題ないと思います。以上です。</p> <p>大熊委員いかがでしょうか。</p> <p>特にありません。</p> <p>全ての委員が問題ないということでしたので、大項目②の評価はAということよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、外部評価もA評価といたしたいと思います。</p> <p>続きまして、「③利用者サービスの向上」に移りたいと思います。事務局より説明をお願いします。</p>
<p>富田病院財務課長</p>	<p>それでは、事務局より大項目③についてご説明いたします。</p> <p>A4判資料の 23 ページをお願いします。小項目「24 市民公開講座の実施」でございますが、目標は 20 回/年、それに対する実績は0回/年となりまして、評価はdとさせていただきます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催を見送ることとしたこととさせていただきます。</p> <p>恐れ入りますが、A3判資料にお戻りください。大項目③における小項目表はsが1件、a が3件、dが1件となりまして、「評価点数合計」は19.1 点、満点に対する割合は 66%となり、「病院評価」はAとしております。</p> <p>大項目③についての説明は以上となります。</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>登坂委員長</p> <p>尾形委員</p>	<p>「24 市民公開講座の実施」については、d評価になってしまいましたけれども、今年度もコロナ禍でやむを得ない状況であると理解をせざるを得ないと思っております。ご意見のある委員がおりましたら、挙手をお願いいたします。尾形委員、お願いいたします。</p> <p>ここも全体としては素晴らしい内容だと思います。意見というほどではないのですが、入院、外来それぞれの満足度が目標を上回っているところですが、特に入院が高いところ。外来も目標を達成しており、決して低い数値ではありませんが、令和2年度の実績である 95%からは</p>

<p>登坂委員長 増田医事課長</p>	<p>下がっておりますが、外来の満足度について変化やアンケートでの特筆すべき意見があったか、聞かせていただきたい。</p>
<p>登坂委員長 尾形委員 登坂委員長 青地委員 登坂委員長 青地委員 登坂委員長 石原委員</p>	<p>事務局よりお願いいたします。 医事課長でございます。外来の満足度アンケートとして見受けられたことは、建て替えから2年ほど経過したことにともない、設備の更新に対する評価が若干減少しております。また、外来の患者が増加傾向にあり、駐車場の満車による、待ちが発生している状況でして、それに対する指摘がございました。建て替え工事が終了し、駐車台数が増加すれば、解消するものと考えております。また、待合スペースが密になっているとの意見がありましたので、椅子を持ち出し、待合スペースに置くことでなるべく密を防ぐ方法をとっているところとなります。 ありがとうございます。尾形委員よろしいでしょうか。 ありがとうございました。 青地委員、ご意見ございますでしょうか。 (音声不明瞭) 青地委員、再度お願いいたします。 こちらについても、特に意見はありません。 ありがとうございます。石原委員、いかがでしょうか。 特にありませんけれども、病院が新しくなると、病院の満足度は当然向上すると思えます。それ以外に、調査を通して、改善したことがあれば、お願いします。</p>
<p>登坂委員長 増田医事課長</p>	<p>医事課長、お願いいたします。 医事課長よりお答えいたします。多床室に入院された方から仕切りのカーテンがきちんと閉められていない、掃除について場所によりムラがあるとのことのご意見がありましたので、看護部や管理部に情報提供を行うことにより、対応を行っております。</p>
<p>石原委員 増田医事課長</p>	<p>有料個室についてですが、旧病院と比べ新病院の稼働率は上がっていますか。 旧病院の稼働率については、把握をしておりません。申し訳ございません。新病院の稼働率について報告をいたします。概ね有料での利用は4割台となっております。救急入院の患者に対して、入院の際に感染の検査を行い、結果が判明するまで、個室に入らせていただいております。その利用が4割程度あり、全体で8割程度となっております。</p>
<p>登坂委員長 大塚委員</p>	<p>大塚委員、いかがでしょうか。 アンケート結果を入院患者 233 人から得たとあるが、母数はどの程度になのか、教えて欲しい。</p>

増田医事課長	<p>医事課長より回答いたします。母数につきましては、アンケートの実施期間の1日あたりの入院患者は400人前後であったと考えており、実施期間が12日間でしたので、母数としては5,000人程度と考えております。</p>
大塚委員 登坂委員長	<p>分かりました。ありがとうございます。 色々のご意見ございましたが、外部評価も事務局案どおりA評価でよろしいでしょうか。特に異議がないようですので、A評価とさせていただきます。</p>
富田病院財務課長	<p>続きまして、大項目「④病診連携の強化」でございます。まずは、事務局より説明をお願いします。 大項目④についてご説明いたします。 27ページをお願いいたします。小項目「28 登録医療機関数の増加」でございますが、目標は25件、それに対する実績は20件であり、評価はbとしております。 分娩取扱い施設は、埼玉県内でも減少傾向でございますが、登録医療機関数は令和2年度と同数を維持しております。 次に28ページをご覧ください。 小項目「29 取扱件数の増加・維持」ですが、目標は180件以上、それに対する実績は132件であり、評価はcとしております。 さいたま市においても出生数は減少しており、対象となるローリスクの妊婦さんも減少傾向であるため、目標を下回りました。 次に29ページをお願いいたします。 小項目「30 情報交換のための医療機関訪問」でございますが、目標は実施、それに対する実績は実施であり、評価はbとしております。 新型コロナウイルス感染症の影響によりまして、医療機関への訪問時期が限定的となりましたため、このような評価としております。 恐れ入りますが、A3判資料をお願いいたします。 大項目④につきましては、病院の評価では、sが1件、aが2件、bが2件、cが1件でございますが、「評価点数合計」は25.2点、満点に対する割合は56%でございますので、「病院評価」はBとしております。 大項目④の説明は以上となります。 ありがとうございます。市立病院の内部評価では、s評価が1件、a評価が2件、b評価が2件、c評価が1件、平均による評価はBとなっております。委員の皆さまからのご意見、ご質問がありましたら、お願いします。尾形委員、いかがでしょうか。</p>
登坂委員長	
尾形委員	<p>この評価自体に異論はありません。26ページに地域医療支援病院</p>

<p>登坂委員長 堀之内院長</p>	<p>の承認に向けてと書かれておりますが、それと併せてご案内かとおもいますが、紹介受診重点医療機関が制度化されまして、4月の診療報酬改定にも評価が導入されたことはご案内かと思えます。その要件として、医療資源を重点的に活用する外来の割合について、初診だと 40%以上、再診で 25%以上という基準が設定されたところですが、この基準でみたときに市立病院の位置付けはどのへんにあるのか教えて欲しい。</p> <p>堀之内院長、お願いいたします。</p> <p>堀之内でございます。ご質問ありがとうございます。</p> <p>当院、市立病院であるため、紹介状を持参していない患者も受診可能であり、選定療養費を支払って受診される患者が月 300 人程度いらっしゃいます。正確な数値については、把握しておりませんが、当院、紹介受診重点医療の初診の基準を少し下回るとは思われますが、再診の基準である 25%は維持できるかなと考えております。</p>
<p>尾形委員 登坂委員長 青地委員</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、青地委員、いかがでしょうか。</p> <p>2点ほどよろしいでしょうか。</p> <p>1つは、小項目28になりますが、登録医療機関数が年々じわじわと減少傾向ですが、これは出生数自体が減っているわけですが、ここに新型コロナウイルスの影響がどれだけかあるかっていうことを把握しにくいところですが、逆に出生数が年々減っていることが把握できているのであれば、目標の数値が変化していないので、ここを検討してもよいのではないかと考えていました。</p>
<p>登坂委員長 青地委員 登坂委員長 堀之内院長</p>	<p>それから質問なのですが、小項目31の医療相談件数が約 1.5 倍に増えているが、(音声不明瞭)</p> <p>青地委員からご質問がありましたが、内容としましてはセミオープンシステムの減少と医療相談件数の増加の件でよろしいでしょうか。</p> <p>はい。</p> <p>それでは、セミオープンシステムの件について、堀之内院長、お願いいたします。</p> <p>セミオープンシステムにつきましては、分娩件数が少なくなっていることも事実ではありますが、ハイリスク症例、新生児搬送、母体搬送を受けることにより、G-ICU が満床となるので、ローリスク症例を受けることができないということがあり、目標を下げることも考えられますが、現時点では現在の目標値のまま行っていきたいと思っております。地域の産科の先生からは、検診は地域の産科医院で出産は当院でというリ</p>

日向患者支援センター副所長	<p>スクの分散ということからは、意義があると考えておりますので、このまま目標として進めていきたいと考えております。</p>
登坂委員長	<p>令和2年12月に救命救急センターが開始となり、専任の相談を配置したことが増加の大きな要因となっていると考えております。年々、様々な社会的背景を抱えた患者が増加しており、それに比例し、相談件数が増加していると考えております。</p>
石原委員 登坂委員長 大塚委員	<p>青地委員、よろしいでしょうか。 この病院を見ていますと、コロナ陽性の妊婦さんを非常に積極的に診ておりまして、地域医療に協力しているなど見ております。 石原委員、いかがでしょうか。 特にありません。 大塚委員、いかがでしょうか。 特にはありません。</p>
登坂委員長 大熊委員 登坂委員長	<p>しいて言えば、小項目「30 情報交換のための医療機関訪問」がb評価となっておりますが、私としては、コロナ禍のなかで、非常に頑張っ地域医療連携に協力し、医療機関訪問も行っているのので、a評価でも良いのではないかと思います。以上になります。 ありがとうございます。大熊委員、いかがでしょうか。 特にないです。 各委員からご意見を伺いましたけれども、事務局案通りB評価でよろしいでしょうか。それでは、外部評価としてB評価といたします。</p>
富田病院財務課長	<p>続きまして、「(2)健全な経営基盤の確立」における大項目「①業務改善に関する取組」に移りたいと思います。事務局より説明をお願いいたします。 目指すべき方向性(2)の大項目①についてご説明します。 大項目①につきましては、全ての小項目において目標を達成しておりますので、小項目の説明は割愛とさせていただきます。</p>
登坂委員長	<p>A3判資料をご覧ください。大項目①における小項目評価は a が2項目となり、「評価点数合計」は9.8点、満点に対する割合は70%となりますので、「病院評価」はAとしております。説明は以上となります。 項目数が少ないですが、なにかご意見ありましたら、挙手をお願いします。石原委員、お願いします。</p>
石原委員	<p>SPDの評価については、年に何回か報告をしてもらおう等なに行っているのか教えてください。</p>
富田病院財務課長	<p>病院財務課長よりご回答いたします。当院は、複数年の契約を行っておりまして、令和3年度に契約期間満了となりました。契約期間満了</p>

<p>登坂委員長 大塚委員</p>	<p>時に成果報告をいただき、内容の確認を行っております。令和4年度から新たな契約が始まりましたので、今回の契約から契約期間で報告をさせるのではなく、もう少し短期間で実績評価等を行わせる予定です。</p> <p>他にご意見ございますでしょうか。</p> <p>院内情報システムの脆弱性への検討と記載しているが、このシステムの脆弱性とはどのようなものを想定しているのか。また、アップデート等で解決したため、a 評価となっているのか確認をしたい。</p>
<p>鈴木情報管理室長</p>	<p>情報管理室長より回答します。脆弱性等の対策として行われたのは、マイクロソフトの OS 等のアップデート、それぞれのネットワーク機器のファームウェアのアップデートの報告がされた際に、速やかに適用を行い、脆弱性の対策を行っているところとなります。</p>
<p>登坂委員長</p>	<p>対策は出来ているということでしょうか。大塚委員、いかがでしょうか。</p>
<p>大塚委員 登坂委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>他にご意見ございますか。事務局案では、A 評価ということですが、外部評価も同様に A 評価でよろしいでしょうか。</p>
<p>富田病院財務課長</p>	<p>続きまして、対項目「②収益確保に向けた取組」に移りたいと思います。事務局より説明をお願いします。</p> <p>大項目②についてご説明いたします。</p> <p>A4判資料 34 ページをお願いいたします。</p> <p>小項目「35 病床利用率(一般病床)の向上」でございますが、目標は 81.6%、それに対する実績は 73.2%でございます。評価はbとしております。</p> <p>病床管理委員会を開催し、病床利用状況の把握及び病床運用上の課題の検討を行いました。感染症患者受入れのため、一部の病棟を閉鎖したことが影響したものでございます。</p> <p>次に 35 ページをお願いします。</p> <p>小項目「36 新入院患者数(一般病床)の増加」でございますが、目標は 1,235 人/月、それに対する実績は 1,182 人/月であり、評価はbとしております。</p> <p>先ほどと同様に新型コロナウイルス感染症の影響によりまして、一部病棟を閉鎖し、受入れ病床が減少したことや救急患者の受入れを制限したことが要因となっているものです。</p> <p>次に 38 ページをお願いいたします。</p> <p>小項目「39 査定率の抑制」でございますが、目標は 0.14%、それに対する実績は 0.16%であり、評価はbとしております。</p>

<p>登坂委員長</p>	<p>救急医療管理加算や高額な手術材料等が査定される傾向がございましたため、このような結果になったものです。</p> <p>次に 39 ページをご覧ください。</p> <p>小項目「40 医業未収金発生率の抑制」ですが、目標は 2.18%、それに対する実績は 2.85%であり、評価はcとしております。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による経済的困窮を理由とした支払い不能を訴える患者さんが増加ことが要因の一つとなっております。</p> <p>恐れ入りますA3判資料をご覧ください。</p> <p>大項目②につきましては、病院の評価では、aが1件、bが3件、cが1件となりまして、「評価点数合計」は 26.7 点、満点に対する割合は 47%、「病院評価」はBとしております。</p> <p>大項目②の説明は以上となります。</p> <p>ありがとうございます。ただいま、大項目「②収益確保に向けた取組」についての説明がございました。医業未収金発生率の抑制がc評価となっておりますが、救急医療を行っている以上、やむを得ない事情かなと思います。未収金については、何年間もこのまま未収金として積みあがるのでしょうか。</p>
<p>増田医事課長</p>	<p>医事課長より回答いたします。未収金の経過年数についてですけれども、時効については民法の適用により、現在のところ5年経過したものが時効となります。時効が成立するためには、患者さんからの時効の援用が必要となっております。</p>
<p>登坂委員長</p>	<p>委員の皆さまから、ご意見、ご質問を伺いたいと思います。尾形委員、いかがでしょうか。</p>
<p>尾形委員</p>	<p>収益確保に向けた取組ということですが、数字を拝見（音声不明瞭）、特に入院の単価が上がっている（音声不明瞭）、急性期病院として（音声不明瞭）、以上です。</p>
<p>登坂委員長 青地委員 登坂委員長 石原委員</p>	<p>よろしいでしょうか。それでは、青地委員、いかがでしょうか。</p> <p>私の方からも特にございません。</p> <p>石原委員、いかがでしょうか。</p>
	<p>私は、以前、横浜市立病院に在籍しておりまして、そちらが650床で、現在は平塚市民病院に在籍しており416床です。どちらも同様にコロナにより医業収益が減っており補助金によって黒字になっているという状況は変わらないのですが、病床数が600床を超えるようになると、実際の稼働が何床かは別にして、設備としてのキャパシティを考えると新入院患者数は、相当頑張らないとコロナが終わったのち、かなり厳しいと思っております。良い悪いではなく、新入院患者数はどのような事情が</p>

<p>登坂委員長 堀之内院長</p>	<p>あったとしても下げられないもので、最低 1,200 人は超えなければ厳しいと思います。</p> <p>それから単価についてもいくつかの資料を見させていただきましたが、市内のDPC病院の中で、比較し高い低いといった話がありますが、やはり全国の 600 床規模の病院との比較ではといった表現の方が院内の意識が高まるのではないかと思います。</p> <p>それでは、堀之内院長、ご意見ございますでしょうか。</p> <p>ご指摘ありがとうございます。やはり、コロナの病棟を運営するため、他の病棟を閉鎖しなければならないため、病床利用率 73.2%となっておりますが、閉鎖している病棟を加味すると約 84%～88%の病床利用率となっておりますので、厳しい病棟運営を行っていると考えております。救急、急性期への影響を最小限にしたいと考えておりますが、新入院患者が 1,200 人に届かない現状にあります。引き続き病棟運営に努力していきたいと思っております。ありがとうございます。</p>
<p>登坂委員長 大塚委員</p>	<p>大塚委員、いかがでしょうか。</p> <p>特に問題ないと思います。入院単価につきまして、80,000 円を超えてきておりますので、非常に素晴らしいと思います。(音声不明瞭)、頑張っていたいておりますので、高く評価したいと思います。</p>
<p>登坂委員長 大熊委員 登坂委員長</p>	<p>大熊委員、いかがでしょうか。</p> <p>特にありません。</p>
<p>富田病院財務課長</p>	<p>それでは、事務局案どおりB評価でよろしいでしょうか。それでは、外部評価はBとします。</p> <p>続きまして、大項目「③費用縮減に関する取組」について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>それでは、大項目③についてご説明いたします。</p> <p>A4資料の 40 ページをご覧ください。</p> <p>小項目「41 材料費対医業収益比率の適正化」ですが、目標は 23.9%、それに対する実績は 26.4%であり、評価はbとしております。</p> <p>薬品及び診療材料費につきまして価格交渉を行い、費用の削減を図りましたが、目標を下回ったものです。</p> <p>A3判資料をお願いいたします。大項目③につきましては、病院の評価では、sが1件、a が2件、bが1件となりまして、「評価点合計」が 18.9 点、満点に対する割合は 63%であり、「病院評価」はAとしております。</p>
<p>登坂委員長</p>	<p>大項目③の説明は以上となります。</p> <p>それでは、ただいまの事務局の説明につきまして、ご意見がある方がいらっしゃいましたら、挙手をお願いいたします。</p>

石原委員	<p>材料費を下げるということですが、高度急性期を進めていきますと、やはり材料費は上がっていくことはやむを得ないところがあるかと思えます。適正な材料費比率はどこなのか、この比率をどんどん下げようとすると高度急性期医療が行えるのかということがある。なかなか難しい評価かなと思います。むしろ、人件費を加えた数値のバランスをどういうふうに捉えていくのかが大事かと思えます。</p> <p>小項目「44 ESCO事業による光熱水費の縮減」について、以前の資料を確認しましたが、年間数千万円削減されている数値が分かりにくい。以前にもそのような質問があったが、再度教えて欲しい。</p>
登坂委員長 三上病院施設管理課長	<p>事務局より回答をお願いします。</p> <p>病院施設管理課長より回答いたします。ESCO事業を数年前に設置した際に、旧病院の使用量をベースに作成しております。そのため、新病院になり、空調機器等光熱水費にかかるコストの形をとれることにより、このような差になってございます。</p>
石原委員	<p>例えば光熱水費はどこの病院も非常に上がっており、年間3億円から5億円の増加といった話もあるが、市立病院は試算ではどの程度を見込んでいるのか。また、ESCO事業により、いくら減額すると見込んでいるのか教えて欲しい。</p>
三上病院施設管理課長	<p>昨年度までの数字になりますが、新病院となり2年目となり、その実績をもとに試算を行っておりますが、世界的な問題により、光熱水費は非常に上昇しております。ESCO事業につきましては、令和8年度まで試算を組んでおりますが、これに伴う実績としては、旧病棟で試算されていた4,000万円を下回る可能性がございます。</p> <p>また、空調等の電力を大量使用する仕組みを換えながら、どれだけコストを縮減できるかといった運用面への対応が求められると思えます。ESCO事業が当初想定していた実績と運用での改善等の成果になると思えます。</p>
登坂委員長	<p>石原委員、よろしいでしょうか。それでは、尾形委員、お願いいたします。</p>
尾形委員	<p>材料費(音声不明瞭)、先ほど石原委員がおっしゃって(音声不明瞭)、材料費が高くなること(音声不明瞭)、医業収益に対する比率(音声不明瞭)。</p>
登坂委員長	<p>材料費の医業収益に対する比率に関する事で、よろしいでしょうか。</p>
尾形委員	<p>医業収益に対する比率ですので、一定のコントロールをする必要があると思えます。</p>

<p>登坂委員長</p> <p>富田病院財務課長</p>	<p>他にご意見ございますでしょうか。</p> <p>それでは、事務局案ではA評価ですが、外部評価もA評価でよろしいでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>続きまして、大項目「④経営管理体制の整備」に移りたいと思います。事務局より説明をお願いします。</p> <p>それでは、大項目④についてご説明いたします。</p> <p>小項目「45 組織の見直し」ですが、目標は実施、それに対する実績は実施であり、評価はbとしております。</p> <p>組織の見直しには至りませんでした。新型コロナウイルス感染症の影響の状況を見つつ、組織体制の見直しの前提となる業務量の把握に今後努めてまいりたいと考えております。</p> <p>次に、A3判資料をご覧ください。大項目④につきましては、病院の評価では、a が1件、bが1件でございます。 「評価点数合計」は 8.9 点、満点に対する割合は 52%でございますので、「病院評価」はBとしております。</p> <p>大項目④の説明は以上となります。</p>
<p>登坂委員長</p>	<p>それでは、大項目「④経営管理体制の整備」について、ご意見をいただきたいと思っております。特にご意見はございませんでしょうか。</p> <p>市立病院の内部評価では、a 評価が1件、b評価が1件になり、病院評価はBとなっております。外部評価については、事務局案通りBとしてよろしいでしょうか。特にご意見ございませんでしたので、外部評価としてBといたします。</p> <p>続きまして、大項目「⑤職員の確保・人材育成と適正配置」に移りたいと思っております。事務局よりの説明をお願いします。</p>
<p>富田病院財務課長</p>	<p>それでは、大項目⑤についてご説明いたします。</p> <p>A4判資料の 46 ページをお願いいたします。</p> <p>小項目「47 職員の増員」でございますが、目標は 1,038 名、それに対する実績は 1,013 名であり、評価はbとしております。</p> <p>前年度と比較しまして、21 名の増員をいたしまして、そのうち医師は 8名を増員しましたが、計画人員には至らなかったものでございます。</p> <p>次に 49 ページをご覧ください。</p> <p>小項目「50 労務環境の改善」でございますが、目標は実施、それに対する実績は実施としておりまして、評価はbとしております。</p> <p>会計年度任用職員の採用や休業職員の定数外規定の活用等様々な労務環境の改善に取り組んでまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴いまして、就労制限の増加があり、秋以降の有給</p>

	<p>休暇取得促進を図ることできなかったことから、このような評価となっております。</p> <p>それでは、A3判資料をご覧ください。大項目⑤につきましては、病院の評価では、aが2件、bが2件でございます、「評価点数合計」は12.2点、満点に対する割合は53%でございますので、「病院評価」はBとしております。</p> <p>大項目⑤の説明は以上となります。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、委員からのご質問を受けたいと思います。特にご意見はございませんでしょうか。</p>
登坂委員長	<p>堀之内院長、人員の確保は非常に大変だと思いますが、なにかご意見ございますでしょうか。</p>
堀之内院長	<p>ありがとうございます。</p> <p>若い看護師の就業について、心の安定を与えられるようにしていきたいと考えております。この非常に厳しい感染状況ですと、病棟や若い人をバックアップする体制が取りにくいところがありまして、若い人たちの離職が問題になっております。旧病院のころには、それほどなかったのですが、コロナの感染拡大している令和3年及び4年に若い看護師が離職しておりますので、なるべく手当し、魅力ある病院としていきたいと思っております。また、看護師につきましては、市の人事課から増員を認められておりますので、現在必死で病院の自力をつけるため、努力をしている所です。</p>
登坂委員長	<p>堀之内院長より補足のご意見がありました。委員の皆さまからのご意見はございますでしょうか。</p>
尾形委員	<p>院長先生のお話しに関連しまして、最近、厚労省又は経産省の施策になります。健康経営ということが打ち出されております。健康経営優良法人の認定制度がここ何年か動いてます。その中で最近では、民間の医療法人でホワイト500と言われる、上位500の法人に入るところが出てきている。職員の普段からの健康、それからモチベーションをいかにして維持していくかといったことでは、非常に有効な取り組みだと思います。この健康経営優良法人になるということも検討いただければと思います。これは要望です。</p>
登坂委員長	<p>他にご意見ございますでしょうか。</p> <p>それでは、市立病院の病院評価はBですが、外部評価もBでよろしいでしょうか。それでは、外部評価はBといたします。</p> <p>ありがとうございました。以上、9つの大項目評価をいたしました。全</p>

	<p>体を振り返りまして、ご意見、ご質問等がございましたら伺いたいと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、以上をもちまして議事はすべて終了といたします。ありがとうございました。</p>
<p>3. その他 登坂委員長 富田病院財務課長</p> <p>登坂委員長</p>	<p>それでは、事務局よりお願いいたします。</p> <p>本日は、長時間にわたりご議論いただき、誠にありがとうございました。次の委員会でございますが、本日、皆様にご評価いただいた内容やご意見をまとめまして、本委員会としての評価を確定したいと考えております。また、収支計画や主要経営指標の達成状況につきましても、次回の委員会にてご報告させていただきたいと考えております。</p> <p>次回の開催につきましては、後日、委員の皆さま方と事務局におきまして、調整させていただいた上で、決定させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>事務連絡は以上となります。</p> <p>それでは、第 25 回さいたま市立病院経営評価委員会、終了といたします。委員の皆さま方、ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。本日は、これにて散会といたします。</p>